

July 2025

No.
79

マチの未来をともに考える 議会だより にいわが

ナ・ジ・ヨ・ス・ン・ベ"



定例会報告...2

補正予算 条例改正 発議

未来をつくる提案・議論《一般質問》

委員会構成

みんなの声をお聞きしました《議会報告会》 ...10

所管事務調査を行います《常任委員会》 ...15

"サブタイトルを変更します"

今号よりサブタイトルを「マチの未来をともに考える」に変更します。「町民と一緒に町の将来を考えていこう」という思いをよりストレートに伝えるためです。これからも『ナ・ジ・ヨ・ス・ン・ベ』をよろしくお願いします。

表紙モデル：刈田彬さんと奥様 永年営んできた珠算塾教室にて19ページにインタビュー

発議第1号 西和賀町議会委員会条例改正

広報編集常任委員会の定員を5人から7人に増やす
賛成多数で可決

反対討論

普本 議員

編集委員会内部では「広報編集業務に新人議員が携わったほうがいい」という話はしたが、「業務の負担軽減のために条例を変えて人数を増やしてほしい」と話し合ったことはない。負担軽減が必要なら、編集方法も含め、適切な人数を検討するなどの手続が必要ではないか。条例の改正に至る議論が足りていないと考え、反対する。

消費税5%以下への 引き下げを求める意見書

提案者: 普本議員 賛成者: 中村議員

賛成討論2人・反対討論1人
反対多数で否決

国民の生活の安定のため、最も有効であると考えられる消費税減税を求める意見書を、関係機関に提出しようとするもの。

反対討論

刈田 議員

消費税は社会保障4経費(年金・医療費・介護・少子化対策)、社会保障施策全般に使われる。また、地方消費税交付金は町の財政を安定させるため重要だ。減税により財源の確保のめどが立たない場合、社会保障の維持が可能か不安である。

賛成討論

唐仁原 議員

消費税負担軽減がすべてを解決すると考えないが、現在、あらゆる物の値段が上がり、一方で、それに見合うほど賃金は増えず、実質賃金はマイナスが続いている。家計の負担軽減は待ったなしの状況であり、意見書の提出に賛成する。

賛成討論

中村 議員

物価高騰が続く中、国民の経済的ゆとり感が失われている。「国民が夢や希望を持ち潤いのある豊かな生活を営むことができる地域社会」と掲げる地方創生の実現や出生率の向上には消費税の減税がまずは必要である。

補正予算

A Q

基本実施計画はプロ

ポーザルで行うのか。

敷地のレイアウト、病院との関係、木造での建築等技術

プロポーザルで実施設計業務委託
(仮称) 西和賀町保健センター建設事業
3660万2千円

術的な提案が必要と考えプロポーザルで検討を行う。事業費には用地測量と地質調査業務委託料も含まれる。

みんなの声



たかだ ゆか
高田 由佳さん
(野々宿)

やはり病児保育は必要かなと感じます。新保健センターとともに検討していただけたら。半日や1日ぐらいなら仕事を休めても、何日も休むとなると、仕事や家計にも影響が出ます。病院などに併設した、病児保育があると、新しく移住してくれる方も安心して子育てができるのかなと思います。

A Q

施設建設についての見

湯田地区保育園の運営法人への事業費補助金として、新園舎設計発注に伴う補助金を計上したものである。3月に町の方針を決定し、

湯本保育園に子供を預けている親の一人として、西和賀町の子育て環境は申し分が無いと思っていますが、施設の老朽化については不安がありました。今回新しい施設が建設されることになりとても良かったと思っています。施設は園児が安心安全で過ごせるような設備を少しでも多く取り入れてほしい事と子供たちが将来に向けてたくましく育つていけるようにみんなの声が多く取り入れてほしいと思います。

運営法人と用地の検討を進めたいが、おおむね見通しがついたため、予算化した。今年度は用地取得と設計業務を開始し、令和9年度から新園舎での保育をスタートさせるスケジュールである。

Q

額が大きいものは、当

初予算として計上すべきではないか。年度が始まつたばかりの6月定例会で計上された理由は。

A Q

令和5年度の定期検査で

健全度に問題があり、昨年度、橋梁補修設計業務を実施したところ額が大きかった事から施工方法について精査すること

新保健センター 実施計画始まる

みんなの声



しばた げんき
柴田 元気さん
佐々木電気店

みんなの声



さとう ただし
佐藤 義さん
「111coffee」カフェマスター

小学生の頃この公園に来たときは、草がぼうぼうと生い茂っていました。都会の暮らしを経験し地元に戻ろうと思い公園にふと寄った時、キャンプ場に整備され環境も素晴らしいかったのでここでカフェをやろうと思い開業して5年を迎えます。シンボルである吊り橋が改修されることになって良かったと思います。安全やアクセス面ではとても重要なことで観光面では大いに期待できる公園と思っています。

令和9年度新園舎で保育スタート
にしわが愛児会新保育施設建設事業費補助金
1644万5千円

オロセのつり橋橋梁補修工事
1シーズン延べ1万人が自然を満喫
6343万7千円

令和7年6月10日から13日までの4日間
西和賀町議会 第15回定例会を開催しました。
定例会での議論の一部を抜粋して紹介します。



件名	結果
議会の運営に関すること	
委員会構成 <small>この表の下に詳細</small>	原案承認
常任委員会の所管事務調査 産業建設常任委員会と総務教民常任委員会の活動	原案承認
閉会中の広報編集常任委員会の開催 1年を通して編集委員会を開催する必要があるため	原案承認
閉会中の議会運営委員会の開催 議会を開く前に、会期の検討等が必要となるため	原案承認
議員派遣 7月2日に秋田県五城目町を視察する	原案承認

委員会構成 議会に設置された委員会の任期満了(2年)に伴い、構成を協議した結果、これまでと同じ構成で臨むことになりました。

なお、広報編集常任委員会については、中村ひとみ議員、高橋義彦議員が新たに加わりました。

総務教民常任委員会 産業建設常任委員会 広報編集常任委員会

◎ 柳沢 安雄
○ 高橋 敏樹
普本 歌織
高橋 宏
高橋 到

◎ 北村 翼雄
○ 高橋 義彦
真嶋 実
中村 ひとみ
唐仁原 俊博
刈田 敏

◎ 真嶋 実
○ 唐仁原 俊博
真嶋 実
中村 ひとみ
高橋 敏樹
高橋 義彦
刈田 敏

議会運営委員会

◎ 高橋 到
○ 柳沢 安雄
北村 翼雄
真嶋 実
刈田 敏

◎ 委員長 ○ 副委員長

賛否の分かれた案件

○賛成 ×反対

案件	北村 嗣雄	真嶋 実	普 本 歌 織	中 村 ひ と み	高 橋 敏 樹	唐 仁 原 俊 博	高 橋 義 彦	高 橋 宏	高 橋 到	柳 沢 安 雄	刈 田 敏	結 果
発議 1号	西和賀町議会委員会条例の一部改正											可決
採決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議 2号	消費税 5 %以下への引き下げを求める意見書											否決
採決	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	否決

※議長は賛否が同数などの場合にのみ採決に参加します。これ以外は採決に参加しません。

審議の結果

第15回定例会で 話し合ったこと、その結果

※ページ数が書いてあるものは
議会だより内で詳しく取り上げています

議会だよりの審議や質疑の記事は、
抜粋や要約をしています。
正確には、後日町のホームページに
公開する会議録をご覧ください。
<https://www.town.nishiwaga.lg.jp/chogikai/index.html>



件名	結果
専決処分の承認	
町税条例の一部改正	原案承認
国民健康保険税条例の一部改正	原案承認
令和6年度 一般会計補正予算(第10号) / 令和6年度 国民健康保険特別会計補正予算(第3号) / 令和6年度 下水道事業会計補正予算(第5号)	原案承認
条例改正 (法律・政令・省令などの改正などにあわせるもの)	
子ども、妊産婦、重度心身障がい者及びひとり親家庭医療費給付条例の一部改正	原案可決
地域経済牽引事業の促進区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正	原案可決
町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	原案可決
令和7年度 補正予算	
一般会計補正予算(第1号) / 温泉事業特別会計補正予算(第1号) / 町立西和賀さわうち病院事業会計補正予算(第1号) / 水道事業会計補正予算(第1号) / 下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
その他	
消防ポンプ自動車の取得	原案可決
町立小中学校学習者用タブレット端末の取得	原案可決
除雪車の事故による損害賠償	原案可決
議員からの発議 議員が議案を議会に提出し、審議を求めたもの	
議会委員会条例の一部改正 広報編集常任委員会の定員を5人から7人に	原案可決
消費税5%以下への引き下げを求める意見書	原案否決

未来をつくる 提案・議論

一般質問報告

今回は5人が質問！



議員は町の行政、財政について、執行機関に質問できます。定例会では「一般質問」として、未来をつくるための提案・議論を行います。

議員名に **囲み** のある項目は記事掲載あり。掲載文の文責は各議員あります。質疑応答の全文は、会議録ができ次第町ホームページで公開します。

教育

沢内小中学校建設検討委員会の検討内容と経過 普本
保育所(園)の統合、保護者に隨時説明を 普本
保育所(園)統合条件の送迎支援の検討は 普本
地域型スポーツクラブの現状と今後の見通し 普本／唐仁原

中学校部活動の地域移行への現状と課題 普本／唐仁原
県立高校次期再編計画への町の要望は 戸田
西和賀高校魅力化を町民にどう伝えていくか 戸田
西和賀高校魅力化をどのように推進するか 戸田
保育・小・中学校の更なる魅力化に取組むべきでは 真嶋

農業・林業

町内の民間ジビエ事業の状況は 唐仁原
主食用米栽培対策へ農業みらいづくり基金の活用 高橋宏
農業に参入する若い世代への支援体制は 高橋宏

観光

インバウンド獲得の町の展望、事業の予定は 唐仁原

行政・財政

職員提案制度が整備された背景と経緯 真嶋
職員提案制度施行後の運用状況と実績は 真嶋
財政力指数の推移はどのようなものか 戸田
持続可能な財政運営の対策は 戸田

交通・A.I オンデマンドバス運行

新システムの利点は発揮されているか 真嶋
新システムの改善策は 真嶋

生涯学習・銀河ホール

「より開かれたホール」の町の考え方 唐仁原



ふもと
かおり
歌織

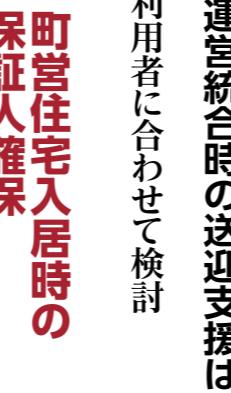


A



Q

保育所運営統合時の送迎支援は



保育所運営統合時の送迎支援は
個別の利用者に合わせて検討



Q

「町営住宅入居を検討したが、連帯保証人の確保が難しく断念した」という町民の声があつた。連帯保証人を必要としない入居の方策について検討は。

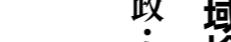


かりた
さとし
敏



Q

地域検討会議に何を要望

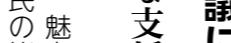


A



Q

地域検討会議に何を要望



A

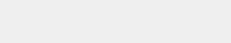


Q

地域検討会議に何を要望

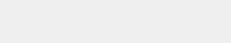


A

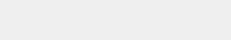


Q

地域検討会議に何を要望



A



Q

地域検討会議に何を要望

A

<p

とうじんばらとしひろ
唐仁原俊博**A****Q****住民主体での空き家活用は法令遵守で進める必要がある**

地域住民が動くことで空き家活用が進むのでは

空き家は私有財産なので、行政が踏み込むには限界がある。空き家の活用が進んでいる自治体では住民主体で動いているケースが多いようだ。

現在、人口が800弱、高齢化率が58・4%の宮城県栗原市の花山地区では、持続可能な地域づくりを目指す一般社団法人はなやまネットワークが中心となつて、「空き家片付け隊」を行っている。これは、「水洗トイレ」「シャワーあり」「駐車スペースあり」「立地がいい」など、移住者にとって条件のいい空き家を、ボランティアで片付ける取り組みだ。

空き家活用を進めるには、使えそうな空き家をリスト化したり、所有者と連絡を取ったり、空き家を片付けたりといった役割を地域が担う必要があるのでないか。

たかはし
高橋**A****Q****事業推進担当課を入れるべきではない**

「複合拠点施設」が整備された場合町の今後は

「複合拠点施設」の整備について、府内の「拠点施設整備プロジェクト」ではどのような事項が検討されたか。

町が責任を持つて行う必要がある。「所有者との連絡」や「空き家の片付け」も所有者のプライバシーへの配慮が不可欠であり、書面による同意を得るなど、法は、個人情報保護法を遵守し、は、個人情報保護法を遵守し、

常に有益だ。しかし、所有者の情報は個人情報に該当する。地域からの情報提供を端緒としつつも、正式なリスト作成や詳細な調査、そしてその情報の管理は、個人情報保護法を遵守し、

は、個人情報保護法を遵守し、町が責任を持つて行う必要がある。「所有者との連絡」や「空き家の片付け」も所有者のプライバシーへの配慮が不可欠であり、書面による同意を得るなど、法は、個人情報保護法を遵守し、

常に有益だ。しかし、所有者の情報は個人情報に該当する。地域からの情報提供を端緒としつつも、正式なリスト作成や詳細な調査、そしてその情報の管理は、個人情報保護法を遵守し、



空き家周辺の遊休農地、ヤギに管理してもらう手も！？



https://hana-net.org/

既存の産直施設などのお客様を奪うのではなく、これまで西和賀町に足を運んだことにより地域全体の活用化を図ろうとしている。

健康福祉課は、現在計画中の「保健センター」（保健施設）も視野に入れた町全体の「ゾーニング（地域ごとの計画）」が必要ではないか。

道の駅の移転を検討したこと�이 베ースにある。単純に道の駅を移転させるだけでなく、防災拠点や交流拠点将来的に町民が利活用できる機能を有した拠点施設として整備すべきではないか。

「拠点」という言葉の捉え方に違いがある。地方創生戦略の最前線としての「拠点」と考えており、行政組織がこれを担当課が施設内に配置されるべきではないか。

「拠点」という言葉の捉え方に違いがある。地方創生戦略の最前線としての「拠点」と考えており、行政組織がこれを担当課が施設内に配置されるべきではないか。

とうじんばらとしひろ
唐仁原俊博

3次総合計画、町の未来像はどう描いているのか

Q 一点集中的な大規模施設だけでなく、生活に密着

A 予約をしてバスに乗車することはに抵抗感があること、一部の時間帯での予約がしづらいことなどから、從来の定期路線利用に慣れた町民が、利用を諦めてしまうケースもあると認識している。A-オンデマンド交通を1回でも利用していただき、利用に対する抵抗感をなくしていくことが重要だ。さわうち病院での住民説明窓口の設置や集落支援員による相談受付、各地域における出前講座などを引き続き実施し、丁寧に説明を行いながら周知を図る。病院利用以外にも、具体的なモデル利用例など作成し、新たな利用者の掘り起こしや利用促進を図っていく。



AIオンデマンドバス、運行開始から3ヶ月が経った

Q すぐできる改善策、解決に時間を要する課題は何か

A まずは複合拠点施設に全力

した中・小規模の「複合拠点施設」も視野に入れた町全体の「ゾーニング（地域ごとの計画）」が必要ではないか

議会傍聴はどなたでもできます。途中入退室は自由です。ぜひ、生の議会を体験してください。

傍聴方法

- 傍聴の受付場所 役場3階議場前
- ①傍聴人受付名簿に名前を記入
- ②資料を受け取り入場

※入退場自由／傍聴20席程度、車いす2席程度可能

次回の定例会は9月上旬の予定です。
正式な日程は、8月下旬に町ホームページに掲載します。

Q 空き家は私有財産なので、行政が踏み込むには限界がある。空き家の活用が進んでいる自治体では住民主体で動いているケースが多いようだ。

現在、人口が800弱、高齢化率が58・4%の宮城県栗原市の花山地区では、持続可能な地域づくりを目指す一般社団法人はなやまネットワークが中心となつて、「空き家片付け隊」を行っている。これは、「水洗トイレ」「シャワーあり」「駐車スペースあり」「立地がいい」など、移住者にとって条件のいい空き家を、ボランティアで片付ける取り組みだ。

空き家活用を進めるには、使えそうな空き家をリスト化したり、所有者と連絡を取ったり、空き家を片付けたりといった役割を地域が担う必要があるのでないか。

本町には既に不要物の撤去費用も含まれる「空き家活用促進事業補助金」があり、既存制度を地域の方々が活用しやすくなるよう、連携のあり方を検討したい。

本町には既に不要物の撤去費用も含まれる「空き家活用促進事業補助金」があり、既存制度を地域の方々が活用しやすくなるよう、連携のあり方を検討したい。

本町には既に不要物の撤去費用も含まれる「空き家活用促進事業補助金」があり、既存制度を地域の方々が活用しやすくなるよう、連携のあり方を検討したい。

しきれない実情を捉える上で非常に有益だ。しかし、所有者の情報は個人情報に該当する。地域からの情報提供を端緒としつつも、正式なリスト作成や詳細な調査、そしてその情報の管理は、個人情報保護法を遵守し、

常に有益だ。しかし、所有者の情報は個人情報に該当する。地域からの情報提供を端緒としつつも、正式なリスト作成や詳細な調査、そしてその情報の管理は、個人情報保護法を遵守し、

* 個人情報保護法

個人情報を取り扱う場合、非営利組織であっても、「あらかじめ利用目的を特定する」「特定した利用目的を本人に伝えるか、あらかじめ公表する」「個人情報は安全に管理する」など、個人情報保護法に則った扱いが求められる。

* はなやまネットワーク
「空き家片付け隊」など、はなやまネットワークの活動については公式サイトが詳しい。

<https://hana-net.org/>

ご意見・ご要望

「川舟の家」の管理はどうなっているのか。
景観的、衛生的にも問題だと思う。

議会広報がすごくいい。内容も深く、
読むことでまた考えることもできる。
さらなる充実を期待する。

議会の中継がひかり放送のみだが、
ユーチューブなども必要で、
若い人にも関心をもってもらうことが大切。
議会には情報発信という点でも頑張ってほしい。

選挙があれば、みんなさんの政策の公報があるはずなのに、ぜひ見たかった。

議員それぞれが情報発信をしてもらい、
議員それぞれの考え方がわからないと
相談しにくいし、議会報告会への参加
者も増えないのではないか。

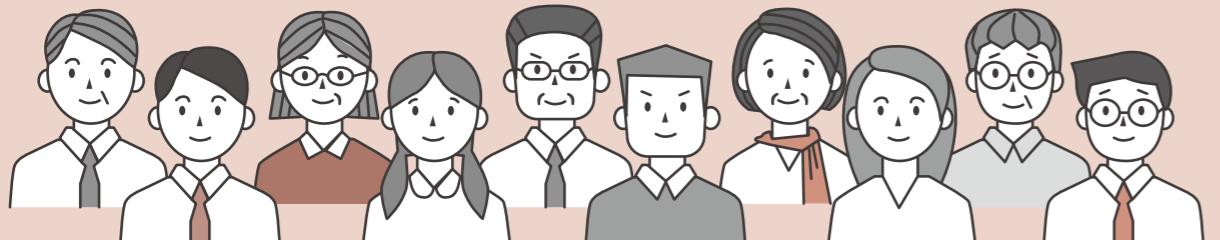
今回の報告会の告知は十分ではないのではないか。
参加者が40名弱では残念。
大事な会なので告知の方法を工夫してほしい。

各議員は、自分のやっていることを住民に
説明することに重点を置いてほしい。
各議員のやっていることが分かると、
住民も意見を出しやすいと思います。

子どもが小さいのでこのような
オンライン開催はありがたい。

いただいたご意見は今後の
議会活動に生かしていきます。

議員の中で発言する人、しない人がいる。
今までは議員を減らしたほうがいいと思う。
何かしらの疑問点があるはずなのに発言しないのであれば
定数を減らし、個人の報酬を上げたほうがいいと思う。



みなさんからの声 ～議会に対して～

議会報告会で町民のみなさんから寄せられた議会に対する質問と、それに対する議会からの答えを記載します。

Q 議会が中継されっていても、日中は仕事で聞くことができない。
Q ユーチューブによる議会配信をしてはどうか？

A 広報編集常任委員会が担当となり、検討を行っています。非公開でテスト配信を行ったことはあります。まだ皆さんへの配信には至っていません。

Q 議員定数と議員報酬についてはどうに考えてている？
A は議員だけですか？

令和6年度から「議員定数あり方検討委員会」を議会内で立ち上げ、検討を進めているところです。7月中に答申を出せるように進めてお

Q 人口規模が同等の九戸村などと予算規模を比較してはどうか？
A 人口規模の他、産業構造や面積などの違いがあり、単純に比較するのは難しいとは思いますが、そういうことも含めて政策研究会などで学習を進め、予算・決算の審議に生かしたいと考えています。

Q 保育所の統合について、議会といふ？
A 「保育所あり方検討委員会」「小中学校あり方検討委員会」の答申が出た時に、議会にも説明がありました。沢内地区保育所の令和7年度からの運営統合についても、令和6年度の1月に説明がありました。

り、今年度中には町民の皆さん 의견も聞くなどして、次の選挙に向けた方向性を定めたいと考えています。第三者を入れる予定は今のところありません。

議会基本条例に「町長等は、議員の質問及び提言に対して議長の許可を得て反問することができます」と規定されています。

A Q 一般質問での反問権についてはどのようになっている？
議会基本条例に「町長等は、議員の質問及び提言に対して議長の許可を得て反問することができます。（新語時事用語辞典より）

A Q

住民から意見を聞く会を今後も開く予定はある？

今後も機会をつくっていきます！



こんな質問も…

少子高齢化している町のあるべき姿は。
各議員の考えを聞きたい。

町の産業について、各議員の考えを聞きたい。

議員の定数と報酬について議員
それぞれの意見を聞きたい。



議員各自町民の声を十分に聞き取れて
いるか。自己評価として何%か。

次年度の事業について（予算審議）、
どのような意識で可決したのか、
議員それぞれの声を聞きたい。

今回は議員一人一人の意見を述べることはしませんでしたが、みなさんからはこのような声も寄せられました。

町の課題を明らかにし、
政策提言につなげるため
これまで以上に常任委員会が活動します。

議会に設置されている委員会は、原則として、
会期中(定例会や臨時会の期間)にしか活動できませんが、
第15回定例会において、閉会中(会期中以外の期間)にも
活動することを決めました。

産業建設常任委員会と総務教民常任委員会は
それぞれテーマを決めて、所管事務調査を行います。

所管事務調査：町の事務(行政が行う仕事)について、
政策提言などにつなげるために、委員会が自主的に行う調査



議会が開かれていないときにも
所管事務調査を行います

産業建設常任委員会

テーマ
町内上下水道施設の現状と課題の把握

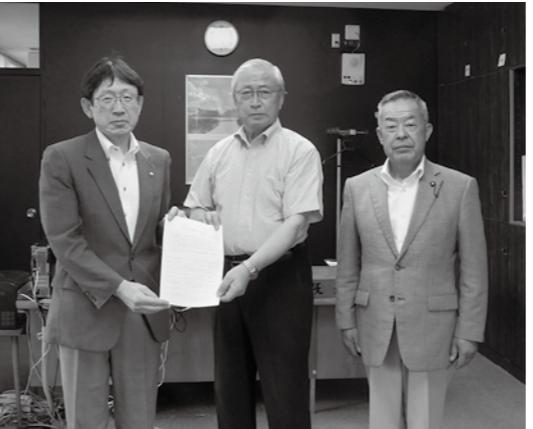
上下水道は重要なインフラのひとつだが、令和7年7月から水道料金が改定され、更には4年に一度、料金の見直しが予定されている。建設水道課案内のもと、町内全施設の現地調査を行い、現状と課題を把握する。



総務教民常任委員会

テーマ
町の介護施設の現状と課題の把握

高齢化・人口減少が進む社会情勢において町内の介護施設における高齢者への支援、職員の勤務状況、介護サービスの在り方等について現状把握や理解を深める。また、将来にわたり高齢者が安心して健やかに暮らせるまちづくりを目指して調査・研究を進める。



みなさんからの質問・要望を町長へ

議会報告会では、町の事業に対する質問や要望も寄せられました。これらの意見や要望も町長にすべて伝え、今後の町政に生かしてもらうよう求めました。

みんなからの声 ～町の事業に対して～

めました。質問については回答が届きましたら、改めて議会広報でお知らせします。

意見

公共交通

- 乗車人数が少ない日のバスはワゴン車でもいいのでは。
- 車を利用しないので、オーデマンドバスはありがたい。病院への通院に使っているが、バスが利用できる日が週1回から週3回になった。
- オーデマンドバスの利用の仕方が、電話でも予約できることは分かっていても、分かりにくいという人もいるようだ。

空き家

- 空き家バンクに登録するにもある程度片付けが必要。片付けの補助が必要なのはではないか。新たに戸建てで住宅・アパートを建てるよりお金かかるのではないかと思うので、空き家の活用を考えてほしい。
- 役場の業務の担当に地域おこし協力隊をつけることに疑問を感じる。人員不足は承知しているが、役場の人員不足や専門性が必要な職務について、地域おこし協力隊の使い方も合わせて前向きに検討が必要と思う。

役場の業務

- なめどこライン(県道12号線)の冬期通行止め期間を短くして欲しい。
- 県道1号線泉沢のバイパス工事は、町では状況を把握しているのか。現状の説明をしてほしい。
- 新町の流雪溝は、幹線から新町の流雪溝に入るまでの側溝が細くなったり太くなったり浅くなったり深くなったりで、結局一番浅いところの水量しか来ない。改善してほしい。
- 泉沢の穴堀の早期の予算化を願う。防火用水、生活用水も含めて必要な用水路について、早急に応急処置だけでもお願ひしたい。
- 桐沢～川舟間の東幹線(町道)は、雪解け時に倒木や土砂が残っていることが多いためで、早めに整備してほしい。

観光振興

- 「川舟カルデラ」の観光振興を進めて欲しい。
- 高田沢山は町にとって重要な観光資源で、冬も登山客がいる人気の山である。駐

- 行事、建物など湯田方面に一極集中になつて、寂しいところはどんどん荒れていいくようと思つ。
- ホールの運営として問題があるのではないか。

要望

- 野でもできるのではないか。
- 舞台装置の使用方法など利用者が逆にホール職員に指導するような場面もあり、利用者からの苦情があつた。銀河ホールについても通知が来て病院に行くと「まだ早い」と言われる」ことがあり、戸惑つた。改善してほしい。

人口減少

- なめどこライン(県道12号線)の冬期通行止め期間を短くして欲しい。
- 所をということであるが、今後どうう動きになるのか知りたい。保育所の勤の時間の見込みが立たないので、早めに情報を発信してほしい。早めの情報発信のためにインターネットを利用するなどの方法も考えられるのではないか。説明会など、町の方との意見交換の場が少ないと感じている。情報を事前に周知していただきたい。告知端末などで周知していたかもしれないが自分はキヤッヂできなかつた。限られた地域だけの事項であれば、該当する地域にしっかりと伝えてほしい。
- 公園など、休みの日に子どもが遊べる場所が少ないので、整備してほしい。学童、保育所、トレセンなど活用できるようにしてほしい。
- 乳幼児健診について、1歳半を過ぎてから6ヶ月検診の通知が来るなど、通知の時期がずれることがあった。予防接種についても通知が来て病院に行くと「まだ早い」と言われる」ことがあり、戸惑つた。改善してほしい。

情報共有

- 公園などを、休みの日に子どもが遊べる場所が少ないので、整備してほしい。学童、保育所、トレセンなど活用できるようにしてほしい。
- 高田沢山は町にとって重要な観光資源で、冬も登山客がいる人気の山である。駐

情報共有

- 高田沢山は町にとって重要な観光資源で、冬も登山客がいる人気の山である。駐

- 公園などを、休みの日に子どもが遊べる場所が少ないので、整備してほしい。学童、保育所、トレセンなど活用できるようにしてほしい。
- 白糸の滝などの山道の整備や標識の整備を早急にお願いしたい。

議会の動きをピックアップ! 議会と議員はなにしてる?

現地調査

間木野隧道崩落を確認



4月24日、農林課主催の間木野地区隧道現場探索会に町議会から議員8名が参加し、間木野地区の農家の案内で隧道崩落現場の状況を確認しました。間木野地区隧道は令和5年7月の大震災により崩落し、現在は仮設ポンプを設置して用水を確保しています。令和6年度には「間木野隧道長寿命化調査検討業務」が実施され、令和7年度は農業用水路等長寿命化・防災減災事業5,000万円が予算化されています。

県南地区町議会議長会議員研修会

森林資源生かし町の活性化



6月18日、県南地区町議会（平泉・住田・金ヶ崎・西和賀）議長会議員研修会が住田町で開催され、チェンソーアートの取り組みを学びました。木遊会（そまゆうかい）は森林の持つ可能性や大切さ、木の持つ優しさ・素晴らしさを、未来を担う子どもたちに伝えていきたいと、震災の前年に設立されました。震災後も競技会や技術講習、作品展示を広く行い、令和3年からは町「地域創造学」との連携し「アートの森」構想を展開しています。

秋田県五城目町を視察研修

町民の願いから生まれた小学校



7月2日、秋田県五城目町を訪れ、町民主体の「スクールトーク」から生まれた五城目小学校の行政視察を行いました。地域のさまざまな境界線を越えることを目指した「超える学校」のコンセプトのもと、木質建築の開放感ある校舎での授業の様子や、都会と地方の距離を超える教育留学の取り組み、全町民が世代を超えて受講できる「みんなの学校」など、小さな町の大きな挑戦を学びました。

新潟県胎内市視察受入

本紙のリニューアルに注目



7月1日、240kmの道程を経て、議会報編集特別委員会のみなさんが来訪し、当町では広報編集常任委員会が対応しました。広報誌の予算、文字のポイント、フォントの使い方等の編集の細部から、広聴活動、表紙写真の決め方などについて質問が出されました。タイトル変更時や裏表紙議員紹介への反響等にも言及があり、本紙のリニューアルに注目していただきました。

政策研究会

集落支援、地域に寄り添って



4月23日、集落支援員の活動、農村（集落）RMO、二地域居住制度の3つをテーマに開催されました。集落支援員からは「スマホ相談」「ワクワク教室」「サロン立ち上げ支援」「地域計画作成支援」などの様子が報告されました。AIオーディオ運行が3月に始まり、バス利用の相談対応に、支援員の役割が大きくなっています。今年度重点事項として「集落カルテ」作成が掲げられ、自治組織活動での支援員の更なる活躍が期待されます。

岩手町議会視察受入

議会運営・広報に意見交換



5月16日、岩手町議会の議会活性化に関する調査特別委員会が来訪しました。本町議会では議会運営委員会が対応し「議会基本条例」と「議会運営」、「議員による広報づくりについて」と「議会広報モニター制度」について説明しました。岩手町議会では本年3月「岩手町議会基本条例」が制定され、その運用について意見交換がされました。また、広報編集における議員と事務局の役割について熱心な質問がありました。

●主な議会公式行動

R7.3.2~R7.6.9まで

24日	月	広報編集常任委員会 令和6年度西和賀町教育委員会・西和賀町体育協会表彰式 議会報告会「川舟地区公民館」
3	火	令和7年3月末町職員辞令交付式 議会報告会「川舟地区公民館」 地域おこし協力隊活動報告会
26日	水	広報編集常任委員会 議会報告会「新町公民館」 令和6年度消防表彰受賞記念祝賀会
27日	木	議会報告会「日湯本地区公民館」
28日	金	広報編集常任委員会 議会報告会「湯田庁舎」 令和7年3月末町職員辞令交付式
31日	月	議会報告会「日新田郷地区公民館」 令和7年度町職員辞令交付式 令和7年度教職員着任式・辞令交付式
1日	火	町政調査会幹事会
4日	金	令和7年度町立沢内小学校入学式 令和7年度町立湯田中学校入学式
7日	月	令和7年度町立湯田中学校入学式 議会運営委員会
8日	火	令和7年度町立湯田小学校入学式
9日	水	令和7年度転入教職員歓迎会
11日	金	令和7年度町政調査会総会 令和7年度北上地方交通安全協会沢内支会総会
12日	土	金ヶ崎町議会町村議会広報全国コンクール20年連続入賞記念祝賀会
13日	日	陸上自衛隊東北方面音楽演奏会 議員定数等ありかた検討委員会
18日	金	町政調査会幹事会 議会定例報告会・政策研究会
23日	水	令和7年春の交通安全功労者等の表彰式
25日	金	令和7年度西和賀町消防関係者歓迎会
30日	水	広報編集常任委員会 町政調査会幹事会
2日	金	令和7年度西和賀町老人クラブ連合会総会 oga山人セレブションパーティー
9日	金	西わらびお披露目会＆「ゆうパック」出発式
14日	水	議員定数等ありかた検討委員会
15日	木	岩手町議会行政視察 広報編集常任委員会
16日	金	令和7年度県南地区町議会議長会総会 建設業協会北上支部定期総会
20日	火	岩手町議会議員研修会
22日	木	令和7年度西和賀商工会通常総会
23日	金	議会運営委員会
27日	火	令和7年度町村議会議長・副議長研修会
29日	木	一般国道107号(川原:当駅)改良整備促進期成同盟会に係る令和7年度総会 北上地方交通安全協会通常総会
30日	金	広報編集常任委員会 水道広域化事業完成式典
4日	水	岩手町議会議長会第1回理事会、臨時総会
5日	木	令和7年度西和賀町観光協会総会
6日	金	議会運営委員会 第15回定例会資料説明会

このように議長交際費をお知らせします

(令和6年12月11日～令和7年3月31日までの内訳)

お祝い	1件	10,000円
会費	8件	63,000円
お悔み (花輪なども含みます)	0件	0円

みんなの声

んだっすな！



たくさんの生徒が学んだ教室で思い出を語っていただきました

議会や町に望むことは?
この町には魅力ある場所がたくさんあるので、観光客がまた来たいと思う環境を整備してほしい。他には、道路の整備。道路が壊れることに不満を持つている住民は多いと思います。

現在取り組んでいることは?
これまでの活動により生まれてきた書類の整理をしています。そろばん塾にて、地区協議会や納税組合、交通安全協会、川尻観光協会など様々な活動をしたので、各活動においての資料や記念誌、広報誌などが山ほどあり、その整理をしています。

刈田さんといえば「そろばん塾」ですが高校在学中にそろばんを始め、卒業同時にそろばんの仕事につきました。尻を皮切りに、湯本、新町、秋田県湯沢川市に3か所、計6か所のそろばん塾を開設。各塾週2回の運営に加えて、若い頃は黒沢尻南高校定時制川尻分校で9年間非常勤講師として授業を受け持つています。そこで、まさに休む暇がなかったために57年間のそろばん塾で通った生徒は、延べ5809人です。とにかく忙しく大変でしたが、とにかく忙しく大変でした。なことしか覚えていませんが、生徒たちの成績が上がり喜ぶ姿を見るのが私にとってこの上ない喜びでした。

紙上クイズ スミからスミまで

問題文

空欄に適切な言葉を入れてご応募ください。当選者には景品を差し上げます!!

- 焼地台公園の〇〇〇の吊り橋が補修されることになった。(カタカナ3文字)
- 集落支援員が中心になり「集落〇〇〇」を作成中。(カタカナ3文字)
- 広報編集常任委員会が〇〇県胎内市議会の視察を受け入れた。(漢字2文字)

応募方法

はがき、ファックス、WEB (Google フォーム) で、答え、住所、氏名 (ふりがな) 、年齢、連絡先をご記入ください。また、①今号で良かった記事 ②取り上げてほしい内容や企画 ③議会に対するご要望、ご意見などあわせてご記入ください。今後の「西和賀町議会だより」の発行にあたり、皆さんの意見を参考にするほか、寄せられた意見を次号に一部掲載します。なお、匿名での受け付けはしません。

前回号の答え ① 水 ② 39 ③ 地域

応募先

- 〒029-5512 西和賀町川尻40-40-71
西和賀町議会事務局「議会だより紙上クイズ」係まで、
- ファックスの場合は0197-82-2171まで、
- Googleフォームの場合は右のQRコードを読み取りご応募ください。



【締め切り】
7月31日消印有効とします。

【No.78の当選者の発表】 石川勝(大野)、有馬由菜(鍵飯)、小田島学(上野々)

＼おめでとうございます。／

訂正とおわび

議会だよりNo.78 (令和7年4月15日発行) 特集記事「中学生議会報告 町をよりよく!こんな提案どうでしょう?」内で氏名の記載に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。



誤:P27 学年主任氏名 高橋通
P31 生徒氏名 赤石沙良

正:P27 学年主任氏名 高橋由紀夫
P31 生徒氏名 赤石紗良

特集記事について

今号では「ユキノチカラ」を特集する予定でしたが、広報編集常任委員会内の議論が不十分であったこと、内容をさらに充実させられる可能性があること、また議会だより発行予算の関係から、掲載を見合わせました。予告していたにもかかわらず申し訳ありません。次号での「ユキノチカラ」特集をお楽しみに!

「ひとつの庁舎」の 可能性を考えよう

未来の
西和賀をつくる
キミにおくじ!
メッセージー

どんな町にしたい?
農業で儲けられる町に!
去年、集落の人と一緒に
「株式会社弁天」を作り、集落の農地を
まとめて耕作・管理しています。
「まとまった農地をすぐに使える環境」
(=農業で稼ぎやすい環境)があれば
「農業をやりたい」という人に、
すぐにバトンタッチできます!

農業の後継者が
稼げる仕組みづくり
高橋 宏

七内を含む弁天地区では、10年以上前から
地域の人たちが一緒にリンドウを生産しています。
最近ではバイトとして西和賀高校の生徒にも
収穫を手伝ってもらっています。
西和賀を代表する花ですが、「リンドウを初めて見た」
という生徒もいるので、もっと多くの生徒に
ふれてみてほしいです。

活動テーマ
湯田庁舎・沢内庁舎を
ひとつにまとめられないか。
高齢者にとっても、これから町に来る人に
とっても便利なはず!

七内集落生まれ。
西和賀高校ボート部として全国入賞を達成。
農業短期大学を卒業後、実家の農業を継ぎました。
以前は牛の削蹄師、今は酪農ヘルパーとして、
牛にかかる仕事も続けています。

●各号、議員がひとりずつ登場し、皆さんに呼びかけます！

【発行責任者】
議長 高橋 雅一
副委員長 割田 高橋 高橋 中村ひとみ
委員 員 普本 敏樹 真嶋 唐仁原俊博
敏樹 義彦 歌織 実
// // // //

【議会だよりは広報編集常任委員会で
編集しています】

広報編集常任委員会

高校野球岩手県大会が始まり、
よいよ夏本番。西和賀高校の試合が
楽しみです。スポーツには心身を豊
かにしてくれる力があります。西和
賀町のスポーツ環境を考えてみると、
野球やバレー、ボールなどのメジャー
競技はもちろん、冬はスキーやスキー
雪合戦、夏はボートや登山など、
様々なスポーツができるので、とて
も素晴らしいところだと改めて感じ
ます。今、町では総合型地域スポ
ーツクラブの設立の準備をしていま
す。予供から高齢者までの全ての町民が、
いろんなスポーツに取り組み、元気
で幸せに過ごせればいいと思います。

高校野球岩手県大会が始まり、
よいよ夏本番。西和賀高校の試合が
楽しみです。スポーツには心身を豊
かにてくれる力があります。西和
賀町のスポーツ環境を考えてみると、
野球やバレー、ボールなどのメジャー
競技はもちろん、冬はスキーやスキー
雪合戦、夏はボートや登山など、
様々なスポーツができるので、とて
も素晴らしいところだと改めて感じ
ます。今、町では総合型地域スポ
ーツクラブの設立の準備をしていま
す。予供から高齢者までの全ての町民が、
いろんなスポーツに取り組み、元気
で幸せに過ごせればいいと思います。

こびりっこ

編集後記

